



# 「行きつ戻りつの学びを大切に」 「目には見えないものを感じる、詩人」

横溝 祐介 助教

## ■ 自己紹介

英米文学の講座や英語史、そして英語圏の文化と社会などを担当しています。私の専門は西欧の19世紀の文芸です。授業の中では、現代の私たちが生きている環境を準備した西欧の近代の様子を色々な観点から伝えています。産業革命が起き、人力を越えたエネルギーを扱いはじめた時代ですから、その時代の文芸作品の背景には、めまぐるしい生活の物質的な変化があったわけです。現代の持続可能社会への危機感の起点は、ここにあるかもしれません。

また、文学上の重要なテーマには人類未解決のテーマが多く、それについて学生さんたちとディスカッションを行なっています。ゼミでは、社会の構造あるいは人間の意識が生み出すタブー、つまり、無意識に見ないようにしているもの、そこに存在するにも関わらず存在しないものとして扱っているもの、について学生さん達と一緒に考察しています。